

マテリアリティ

■ マテリアリティの特定プロセス

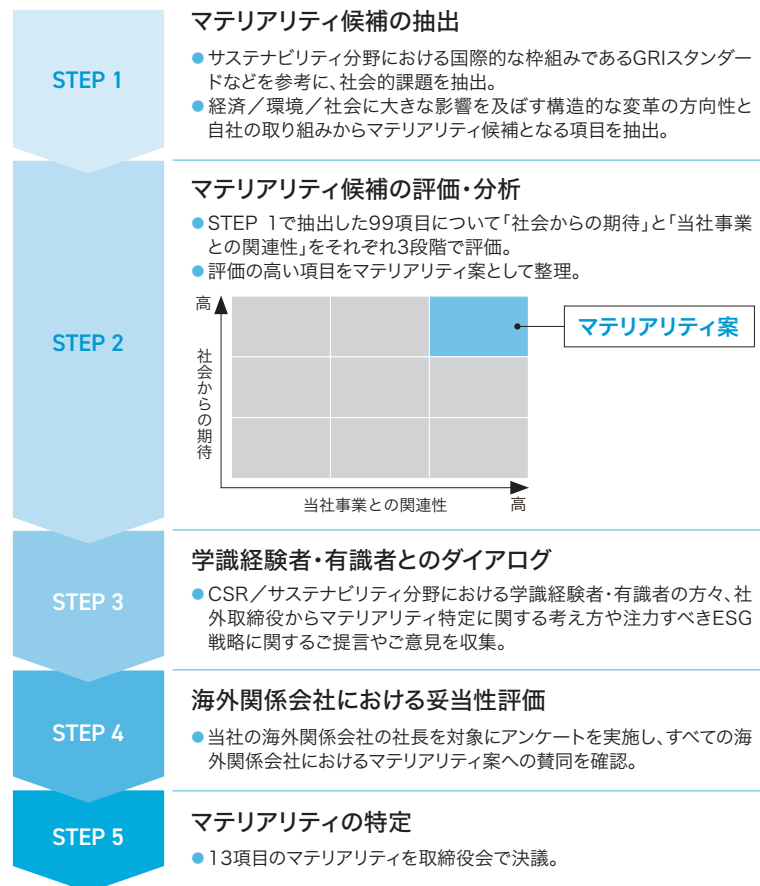
当社グループは、2015年3月に国際社会が持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりである「国連グローバル・コンパクト」に署名し、SDGsの達成を目指しています。

2020年12月に、SDGs対応のために当社グループが優先的に取り組むべき13項目のマテリアリティを特定しましたが、事業環境や社会要請の変化を踏まえ、マテリアリティの見直しを適宜行っています。特定されたマテリアリティについては、項目ごとに年度における対応施策を策定し、取り組みを推進しています。マテリアリティに対する取り組みは、「なめらかな社会」の実現に向けたロードマップで示し、その進捗状況は、組織横断的に構成されたサステナビリティ委員会で定期的に確認し、適宜、取締役会に報告しています。

また、特定したマテリアリティは、NTN企業理念である「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」とも結びついており、マテリアリティに対する取り組みを推進することで、当社グループの持続的な成長と環境・社会的価値の創出を図り、「なめらかな社会」の実現を目指します。



特定プロセス



目指す未来に向けた社会課題の解決への貢献

	マテリアリティ	関連するSDGs
環境	1 気候変動への対応	13
	2 自然エネルギーを利用した持続可能な社会の実現	7, 13
	3 エネルギーロスの低減	7, 9, 12, 13
社会	4 安全と快適の提供	9, 11

ESG経営を支える基盤

	マテリアリティ	関連するSDGs
環境	5 資源循環・汚染防止	12, 14
社会	6 製品・サービスの信頼性向上(品質保証・安定供給)	12
	7 環境・社会を重視した調達活動	10, 13
	8 労働安全衛生の推進	8
	9 人権の尊重	10
	10 人材育成	8
	11 ダイバーシティの推進	5
ガバナンス	12 コンプライアンスの徹底	
	13 ガバナンスの強化	